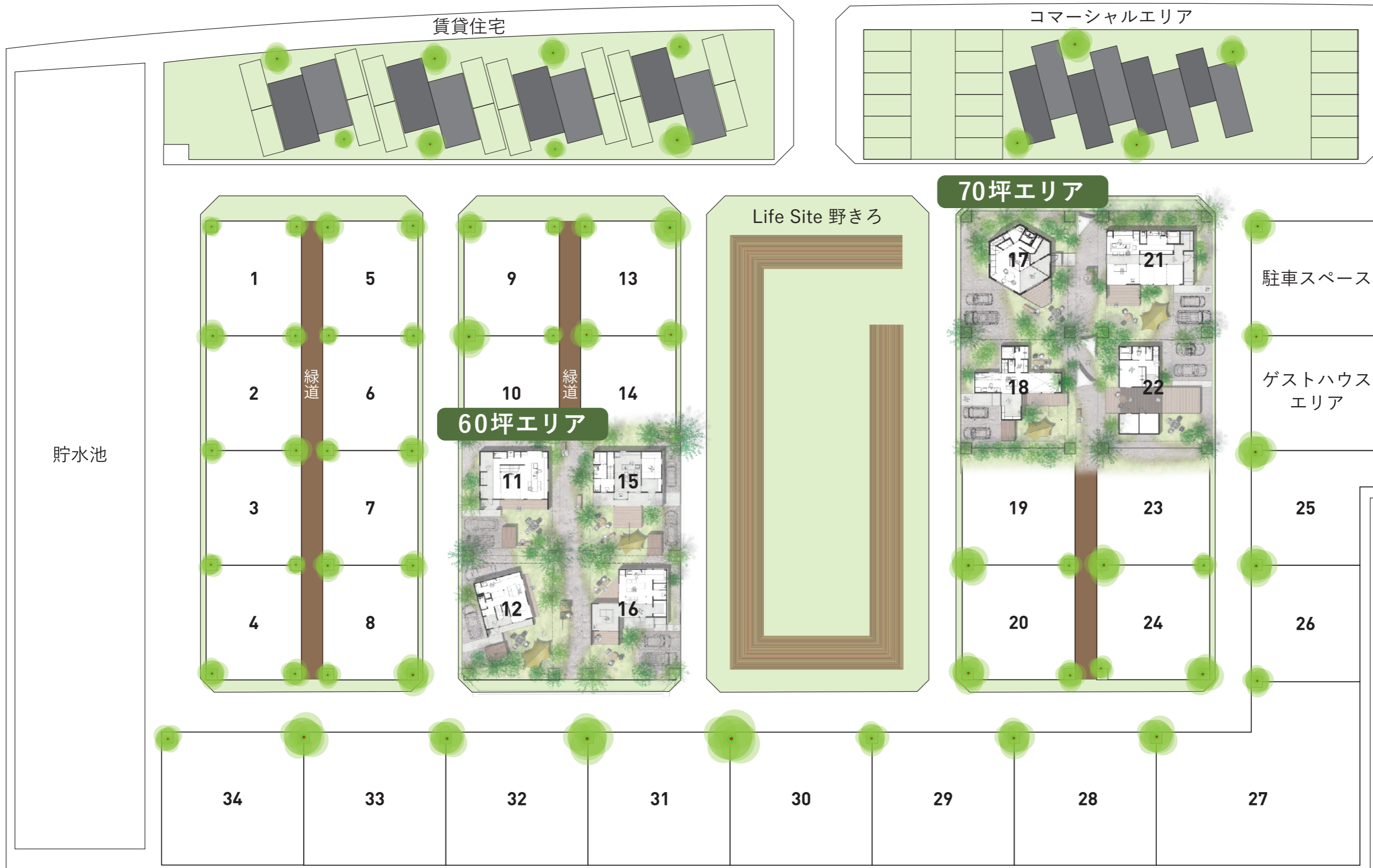




野きろの杜暮らし方のご提案



野遊びできる家の提案 自然を楽しむ暮らしを叶えるため、戸建て住宅には3種類のアウトドアリビングの内、1種類以上を採用して頂きます。

① ウッドデッキ

リビングからの延長として使えるウッドデッキは、外の空気に包まれながら食事やティータイムを楽しめるスペースです。雨天時でも快適に使える一部庇付きの屋外空間とし、面積は13㎡(約8畳)以上とします。コミュニケーションを促すためにウッドデッキの位置は道路面側とし、夏場でも快適に過ごせるようにシェードを取り付けるための金具を設置します。



② 土間リビング

土間リビングは、季節や天候に左右されることなく快適に使える屋外のような屋内空間です。土間の仕上げ材は、石、タイル、洗い出し、たたきとし、面積は10㎡(約6畳)以上とします。ゲストを招きやすいように土間リビングの位置は道路面側にして、屋外空間と一体に使えるように幅2.5m以上の開口部を設け、掃き出し窓が全開口窓で内と外のつながりをつく



③ 庭

街と家の間である屋外空間に居心地のいい庭を設けることで、敷地内でキャンプのような時間を過ごすことができます。面積は13㎡(約8畳)以上とし、植栽は季節を感じさせる落葉樹を推奨します。室内と庭とのつながりをつくり出すために、掃き出し窓や全開口窓を設けて頂きます。なるべく、1階の多くの場所から庭の風景を眺められるような設計を推奨します。



景観を維持するガイドライン ※一部変更となる場合がございます。

- 構造は木造とする。また材料は地産地消とし、新潟県内産材は千曲川、信濃川流域の木材を使用すること。
- 性能は、耐震等級2等級以上とし、HEAT20G2グレード(UA値=0.34以下)とする。
- 道路境界線より外壁面後退距離1.5m。
- 隣地境界線より外壁面後退距離1m。
- カーポートについては、ルーバーで覆うもしくはブラック色のみ可。
- 外壁は窯業系サイディング、金属系サイディングの禁止。推奨は杉板外壁。
- 建物の外構には3本以上の植樹を。
- 隣地境界は境界ブロックの禁止。生垣や柵、塀も可能な限り設置しない。
- 土盛り50cm以上の禁止。(築山はその限りではない。)
- 3階建不可。最高9m以下。
- 室外機とエコキュートの位置を管理本部に提出すること。
- 屋内リビングと庭先をつなぐ空間には中間領域(アウトドアリビング)を設けること。



60坪区画

区画No.1~16

緑道でつながる人と人、野遊びのご提案

【区画No.11/12/15/16を利用したプラン例】

緑道
全長約62m

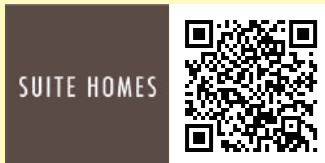
輪

延床面積 / 117.59㎡ (35.57坪)

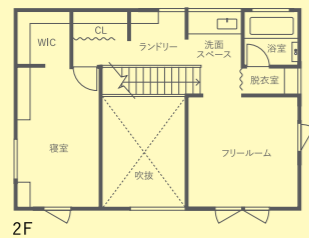
1F / 63.76㎡ (19.29坪) 2F / 53.83㎡ (16.28坪)

かまちに腰掛け近所さんと語らえる、奥へと伸びる玄関土間。階段を中心とした回遊型プラン。ダイニングと外(デッキ)とのつながりに、吹き抜けがつくる2階とのつながり。家族の輪、友人の輪を感じられる住まいです。

Architect



SUITE HOMES
坂本いづみ



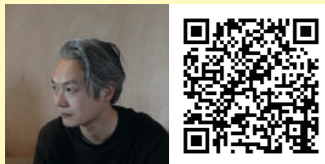
casa UC

延床面積 / 81.14㎡ (24.54坪)

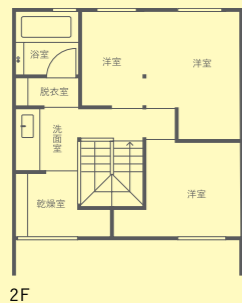
1F / 40.57㎡ (12.27坪) 2F / 40.57㎡ (12.27坪)

シンプルな箱型が特徴的な地材地建の木の家。建物を斜めに配し、2つの庭を設けています。1つは緑道と一体になる庭、もう1つはおうちキャンプを楽しめる庭。2階に水回りを配置し、1階に広々としたLDKを実現しています。

Architect



SIA inc.
石田伸一



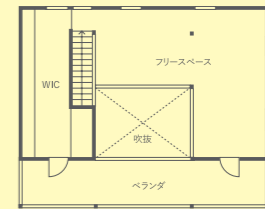
ナカドマの家

延床面積 / 91.08㎡ (27.50坪)

1F / 51.34㎡ (15.50坪) 2F / 39.74㎡ (12.00坪)

温故知新。家の中心を土間にした暮らし方の提案です。DKを土間にする事で外との一体感を高めており、テーブルとイスをデッキに出せば、気軽に青空の下で食事を楽しむこともできます。吹き抜けを介して2階とも繋がります。

Architect



2F



エヌスケッチ
井口哲一

ONE-BOX PLUS-DOMA

延床面積 / 100.19㎡ (30.30坪)

1F / 53.82㎡ (16.28坪) 2F / 46.37㎡ (14.02坪)

薪ストーブがある土間リビング、外とつながる軒下リビング、街とつながるオープニング。趣向の異なる3つのリビングが配された住まいです。DKの中心には大きな作業台兼テーブル。人が集う場が随所に設けられています。

Architect



2F



イツカカズキ建築事務所 (IKA)
飯塚一樹



70坪区画

区画No.17~26

緑道でつながる人と人、野遊びのご提案

【区画No.17/18/21/22を利用したプラン例】

六角形のいえ

延床面積/107.56㎡ (32.54坪)

1F/58.08㎡ (17.57坪) 2F/49.48㎡ (14.97坪)

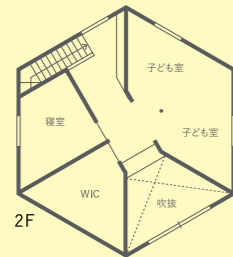
六角形の空間は、視線の向きや長さが多様で、面積以上の広がりを生み出します。キッチンを中心とした回遊動線で、リビングダイニング、土間、デッキ、庭までが一体に。緑あふれる街並みにも調和します。

Architect



安江怜史建築設計事務所

安江怜史



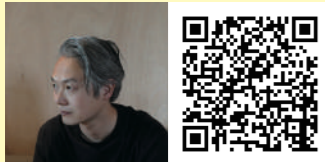
軒下の家

延床面積/95.19㎡ (28.80坪)

1F/55.46㎡ (16.78坪) 2F/39.73㎡ (12.02坪)

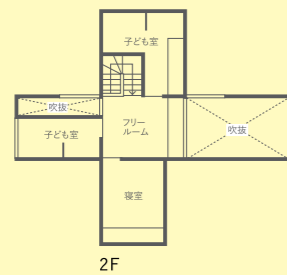
伝統的な日本の建築の特徴である軒。雨雪から建物を守り、軒下の空気層が暑さ寒さを和らげるパフファとなります。この家の軒下には3つの庭を設けており、軒下の価値や心地よさを現代の暮らしに合わせて再構築しています。

Architect



SIA inc.

石田伸一



ONE-BOX PLUS-NOKI

延床面積/79.91㎡ (24.17坪)

1F/79.91㎡ (24.17坪)

IKAが提唱する「ONE-BOX」に、自然と共生するキャンプの要素をプラス。タープをイメージした深い軒下の屋外リビングは、日差しを避け、雨音を楽しめる空間。カーテンで区切れる寝室はインナーテントを彷彿させます。

Architect



イヅカカズキ建築事務所 (IKA)

飯塚一樹

結の家

延床面積/96.06㎡ (29.00坪)

1F/44.72㎡ (13.50坪) 2F/51.34㎡ (15.50坪)

敷地を横断するデッキが道と道をつなぎ、交流を促す住まい。住居との間にピロティ(軒下)を挟んだ"離れ"はSOHOや店舗として使える個室。2階はテラスを囲むようにLDKと個室を配置。開放感とプライバシーを両立します。

Architect



エヌスケッチ

井口哲一

